



市川市立高谷中学校 学校だより 1月号

輝く若木



学校 HP

令和6年 1月9日

高谷中みんなの広場



明けまして おめでとうございます

2024年の幕が開きました。

皆さんは、どんな冬休みを過ごしましたか？

元旦に、今年目標をしっかりと立てましたでしょうか。まだの人は今からでも遅くありません。しっかり目標を立てましょう。

さて、今年の干支について話をしたいと思います。本来の干支は、十干と十二支を組み合わせた60種類があり、今年は十干の「甲」と十二支の「辰」が組み合わさった「甲辰(きのえたつ)」になります。

甲辰の年のキーワードは「成長」や「転機」だそうです。これまでの努力が実って夢が叶いやすい年ともいわれているそうです。これまでコツコツと努力を続けてきた人は、自信をもって突き進み、まだ努力が足りないと思っている人は、粘り強く努力を続け、夢や目標を実現させてください。



~***保護者の皆様***~

旧年中はお世話になり、ありがとうございました。

令和6年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の扱いが5類になったことを受け、保護者の方々に、実際に学校へお越しいただき子供たちの活動をご覧いただく機会が増えました。令和6年も、さまざまな工夫を凝らし、子供たちの様子を見ていただきたいと

思っておりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

一方、夏の酷暑などの気候変動、それにとまなう自然災害の発生、さらに部活動地域移行などの教育政策の大きな転換など、学校を取り巻く環境が刻一刻と変化しています。また、人生100年といわれる世の中で、ライフプランに関する人々の意識も変わり、そのような中で、学校・子供・家庭・地域のウェルビーイング(Well-being)を実現することが、学校教育の中に求められています。

多岐にわたるこれらの内容を、学校だけで取り組んでいくのはとても難しいことです。幸い、高谷中学校には、「信篤三つ葉学園」の取組で培ってきた、「連携」の発想があります。令和6年も、「信篤三つ葉学園」を核とし、「連携」の輪を広げていきたいと思っております。これからも、保護者の皆様のお力添えを賜りながら、前進してまいります。

今後とも、高谷中学校の教育活動にご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

※1月の行事予定は、「輝く若木12月号」に記載しています。

信篤三つ葉学園

三つ葉通信

昨年、小学校への国語科の乗り入れ授業を行いました。内容は「哲学対話」です。「哲学対話」というと、一見道徳のように聞こえますが、「話すこと・聞くこと」の力を身に付ける言語活動として小学校の国語科の教科書に位置付けられています。

小学生の皆さんの、一生懸命話し合う姿は本当に素晴らしいものでした。授業内容について「自分一人では思いつかない考えを知ることができた。」「いろいろな人の意見を聞いてよかった。」などの感想をいただきました。

今度は1月に美術で乗り入れ授業、2月に理科で中学校へのお招き授業を行う予定です。どのような授業



学校図書館長おすすめ

これ、読んでみて

おうちの人と
お子さんと

『大河への道』 立川 志の輔 著/ 河出文庫

皆さんは伊能忠敬を知っていますよね。小学校6年生の時に、国語で勉強したと思います。このお話は、立川志の輔の新作落語『大河への道—伊能忠敬物語』の小説版です。千葉県香取市の市役所に努める池本は、香取市のPRとして伊能忠敬をNHK大河ドラマに取り上げてもらうことを企図します。その中で、ある事実突き当たります。それは、伊能図が将軍に上呈されたときには、すでに忠敬は亡くなっていた、というものです。過去と現在が巧みに行き来するトリッキーな文章構成の中で、謎が少しずつ解明され、最後は感動がじわりと胸を突き上げます。教科書で読んだ忠敬像と読み比べてみるのもよいかもしれません。